

# 令和5年度 学校巡回公演事業

公益社団法人教育演劇研究協会



## ルドルフと イッパイアッテナ



### 「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。  
また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)  
独立行政法人 日本芸術文化振興会

### 「ルドルフとイッパイアッテナ」は・・・

齊藤洋さんの原作は第27回講談社児童文学新人賞の入賞作で、複数の劇団で舞台化され、アニメーション映画化などもされています。劇団たんぽぽでは、1991年から2005年から上演し、今回3度目の舞台化となります。

身近な生き物であるねこから見た世界、ねこたちの知恵と勇気と友情の物語が、歌とおどりっぱいの楽しい劇になりました。

### 劇団たんぽぽは・・・

1946年、戦争が終わり、大きな町が焼け野原になり、食べ物もなく、やせた子どもたちが日本中におおぜいいました。「子どもたちの元気な顔が見たい」と、長野県篠ノ井で小百合葉子を中心に子どものための劇を見せる児童劇団「劇団たんぽぽ」をつくりました。はじめのうちはリュックサックに衣裳や道具をつめて、子どもたちのところに行って劇を見せました。1953年、静岡県浜松市にひっこしました。1955年、公演活動を認められ、文部省(当時)という国の機関から公益法人格が許可され、社団法人教育演劇研究協会をつくりました。北海道から沖縄まで、主に小・中学校で劇をしています。その他にも先生のための「朗読勉強会」や「学校での表現活動」「演劇ワークショップ」「クリスマス公演」など、教育演劇研究協会としての活動もしています。2012年、公益認定が受理され公益社団法人になりました。



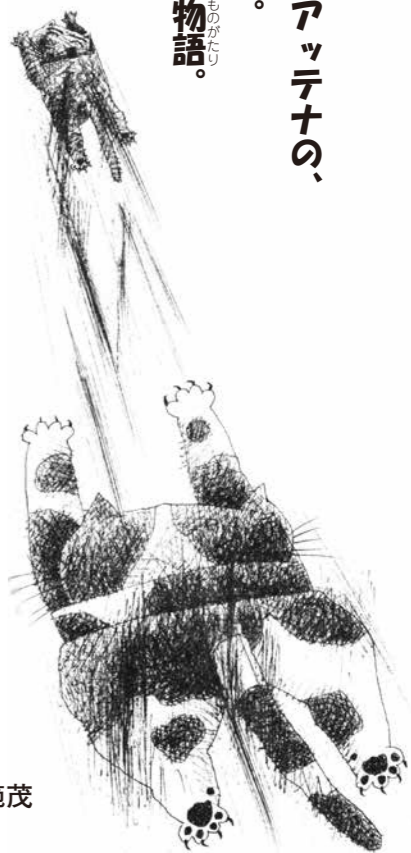


# ルドルフと イッパイアッテナ

歌とおどりがいっぱいの とびきり楽しいねこのおはなし

原作／齊藤洋（講談社刊） 脚色／久野由美 演出／三亜節朗  
音楽／遠山裕 ステージング／酒井麻也子 美術／矢羽田輝伸  
衣裳／柿平衣名美 照明／坂本義美 音響／山北史郎  
制作／上保節子

ほくルドルフと兄貴分イッパイアッテナの、  
とびきりゆかいなのおねご生活。  
ほくたちの知恵と勇氣と友情の物語。



絵・杉浦範茂

ほくは黒ねこのルドルフ。この「ルドルフとイッパイアッテナ」は  
ほくが書いた本。  
ねこに本が書けるわけないって？ちよつとちよつと、そんなふう  
に思っなんてキョウヨウがないなあ。  
飼いねこだったほくは、ある日魚屋に追われて、トラックにとび  
のった。気づけば、ほくは知らない土地に……。  
「ここはどこ？これからほくはこうなっちゃうの？帰りたいーうち  
に帰りたいー！」  
泣いているほくの前に現れたのがイッパイアッテナさ。イッパイ  
アッテナですぐいのらねえなんだ。強いいろいろなことを知ってる。  
しかも字も書けるの。ねこにだってキョウヨウが必要なんだって。  
ほくはイッパイアッテナと一緒にいて、いろいろなことを覚えたんだ。  
のらねえ達とも仲間になれたし、ブッチーっていう飼いねこの友だち  
もできた。ほく達のいるすべ隣には「デビル」という犬もいる。全  
てがほくが飼いねこだった頃とはまるで違う世界。このままのらねこ  
いるのも悪くないかもね。でもさ、イッパイアッテナは、のらねこ  
になることには反対なの。なぜかって？そこにはイッパイアッテナの  
ひみつが…。  
ほくを元の家に帰すためにイッパイアッテナは犬のデビルと…。  
そんなことをイッパイアッテナに教わった字でいっしょうけんめい  
書いたのがこの本。結末はこのお芝居で。  
これは、ほく達の知恵と勇氣と友情がまつたお話なのさ。

## 「絶望は愚か者の答え」

演出 三亜節朗

魚屋に追われ、いつの間にか遠い都会の真ん中に迷い込んだルドルフ。

そこには都会に暮らす野良猫達が居ました。

野良猫達はそれぞれが一人ぼっちでした。一人ぼっちのルドルフの面倒を見てくれた

イッパイアッテナも飼い主に捨てられた一人ぼっちの野良猫でした。

お調子者の飼いねこのブッチーも野良達の仲間に入れない一人ぼっちの飼い猫でした。

塀の中の猛犬デビルも猫たちから嫌われた一人ぼっちの犬でした。

みんな一人ぼっちは嫌だ！

皆ちがうけれど仲良く同じ地球に生きていきたい。

猫たちは考えました。

「僕たち猫がお芝居を作ろう！」

出会うことは大切だ。ギロンすることも大切だ。

キョウヨウも身につく。

話し合えば必ず解り合える。きっと良い世界が出来る。

窓を開けて、換気をしつつ、

唄って、踊って、ガンバルニヤン！

「絶望は愚か者の答えだ！」

